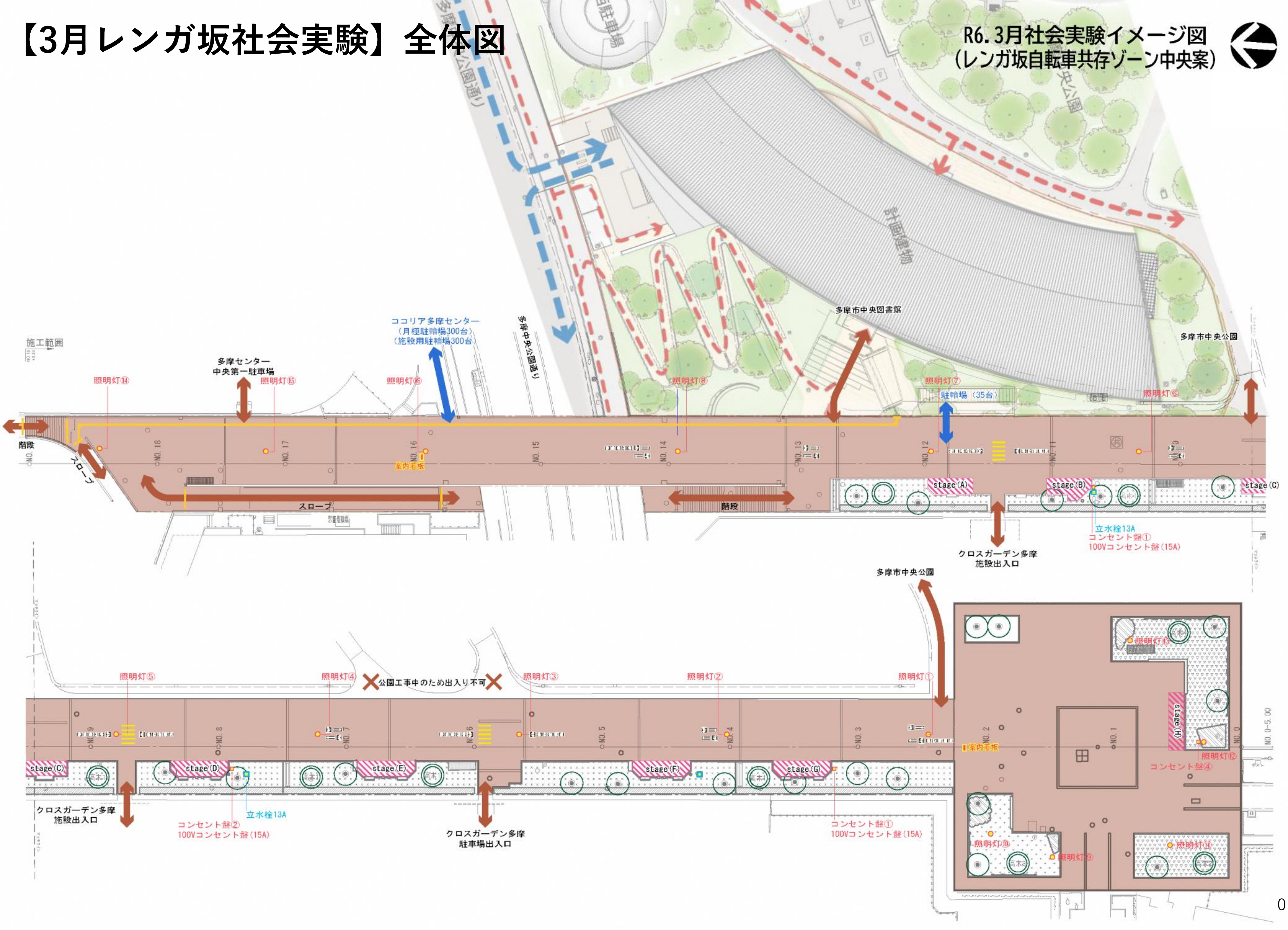
【3月レンガ坂社会実験】全体図

R6.3月社会実験イメージ図
(レンガ坂自転車共存ゾーン中央案)



通行区分のあり方検討

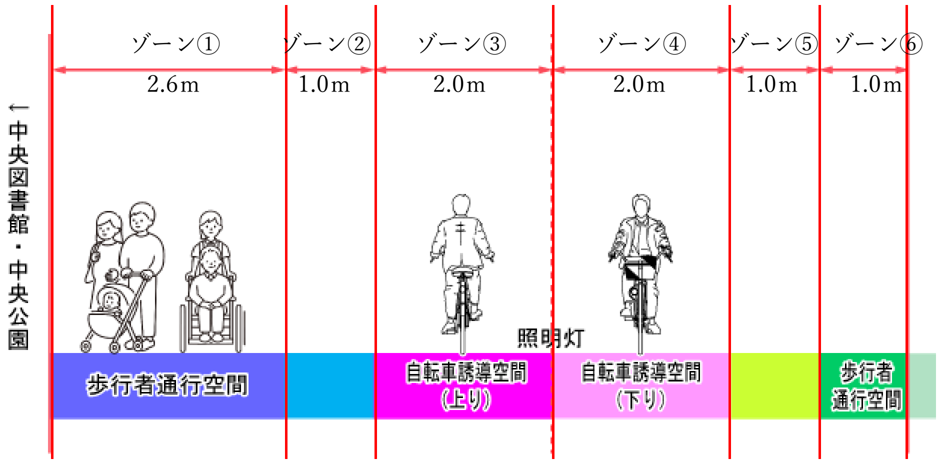
レンガ坂の通行区分の効果を把握するために、ビデオカメラで動画を撮影し、AIシステムにより歩行者・自転車の通行量等を計測

■撮影日時

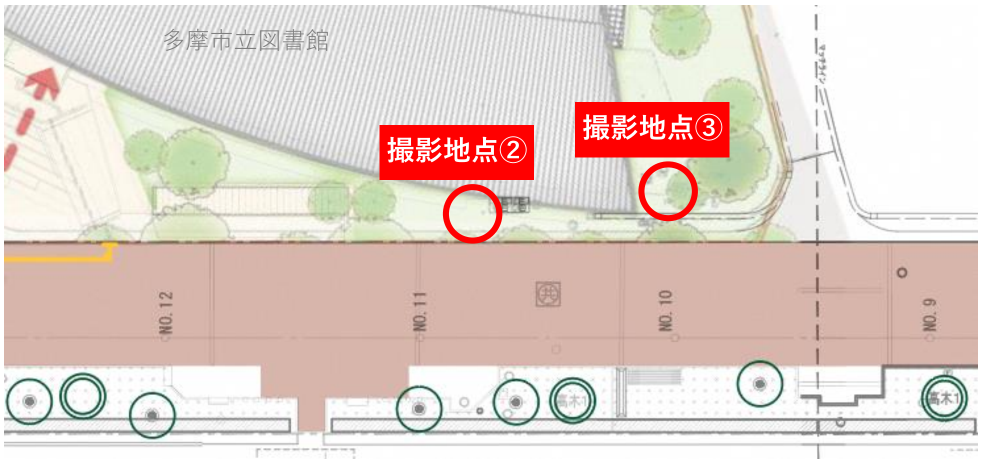
	路面表示等なし	路面表示等あり
平日	３月１１日(月)	３月１８日(月)
休日	３月１０日(日)	３月１７日(日)、２０日(祝)
時間	6 時～19時［13時間］	

自転車通行量等測定位置

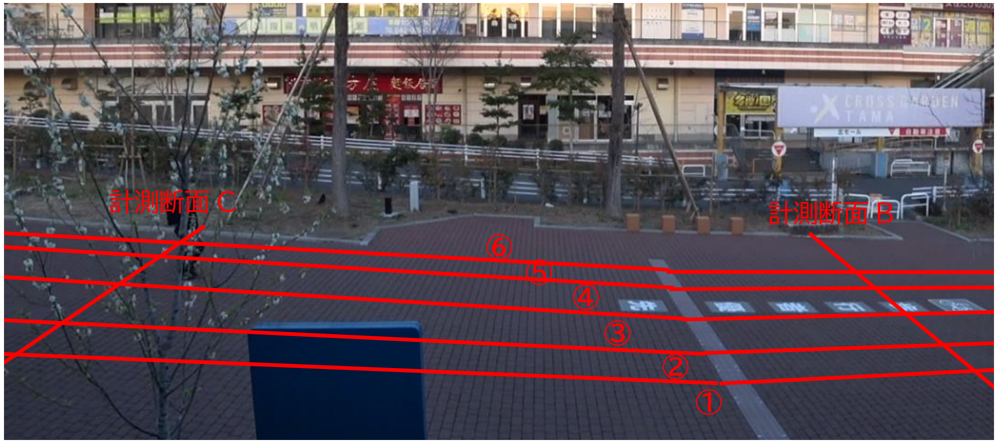
■自転車計測のゾーン区分



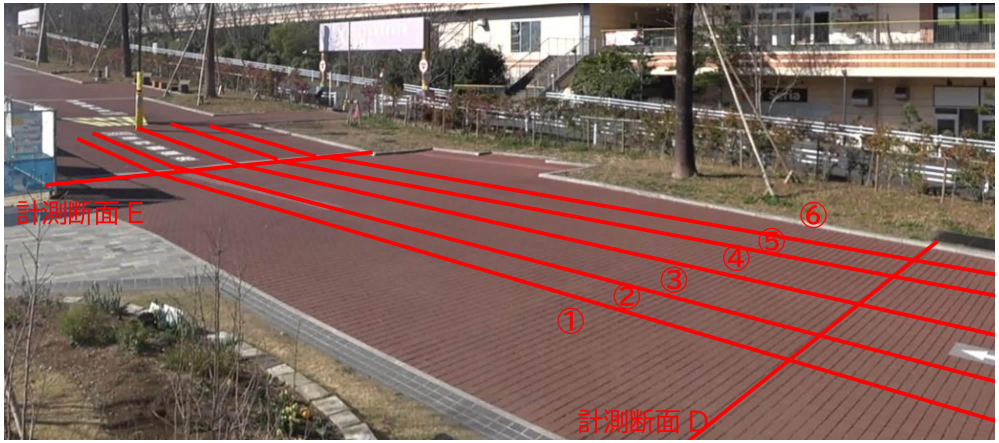
■撮影位置



■撮影地点②



■撮影地点③



【レンガ坂】３月社会実験結果概要（通行区分）

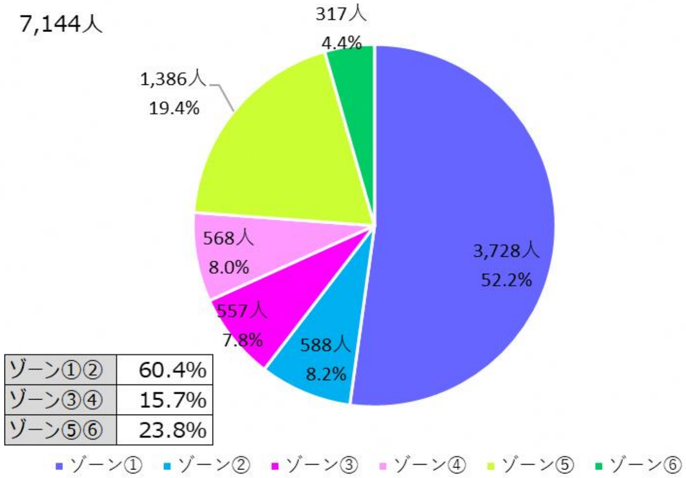
代表的なデータを掲載しています。

＜通行区分＞

・歩行者の通行割合は路面表示等による変化はほとんど見られない。
・自転車ゾーン③④における自転車の通行割合が増加していることから、通行路面表示等の効果が一定程度見られる。

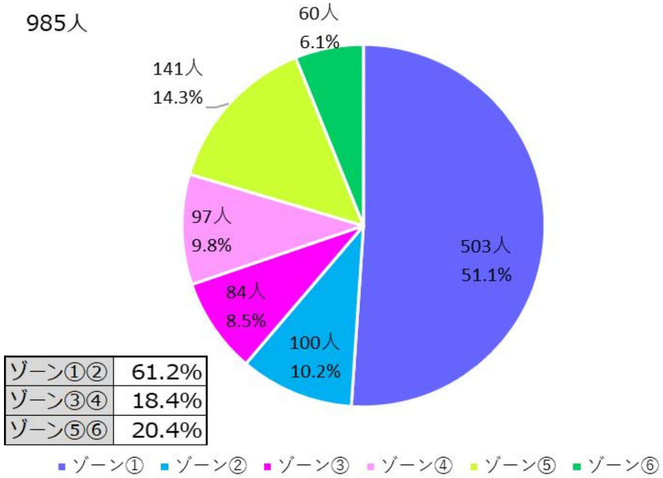
路面表示等なし　3/11(月)

【歩行者通行量】



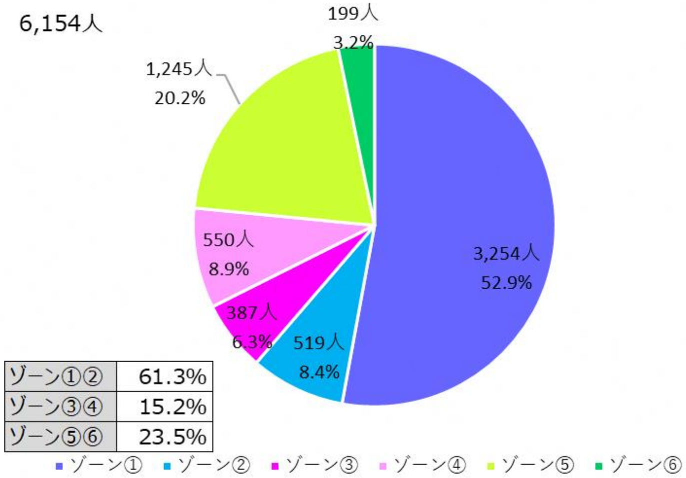
ゾーン①②	60.4%
ゾーン③④	15.7%
ゾーン⑤⑥	23.8%

【自転車通行量】

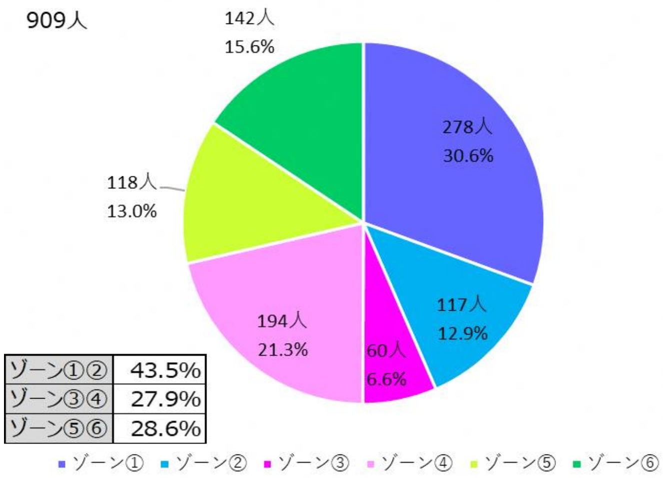


ゾーン①②	61.2%
ゾーン③④	18.4%
ゾーン⑤⑥	20.4%

路面表示等あり　3/18(月)



ゾーン①②	61.3%
ゾーン③④	15.2%
ゾーン⑤⑥	23.5%

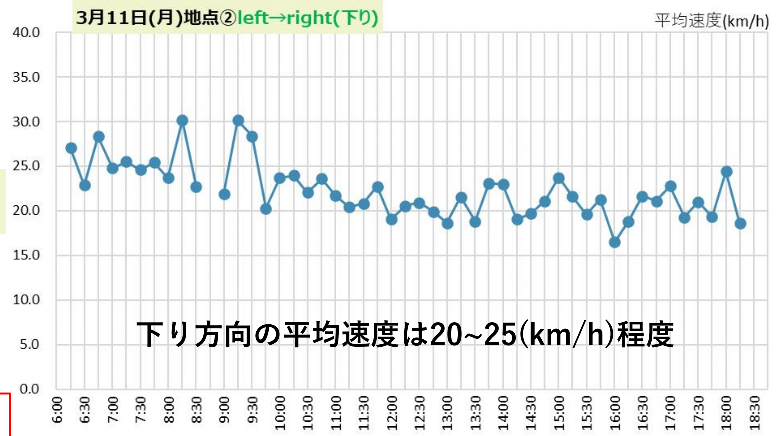


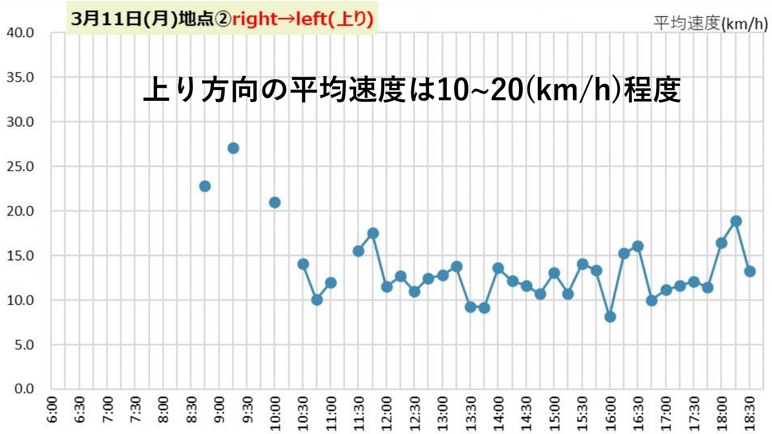
ゾーン①②	43.5%
ゾーン③④	27.9%
ゾーン⑤⑥	28.6%

３月社会実験結果概要（自転車通行速度）

代表的なデータを掲載しています。

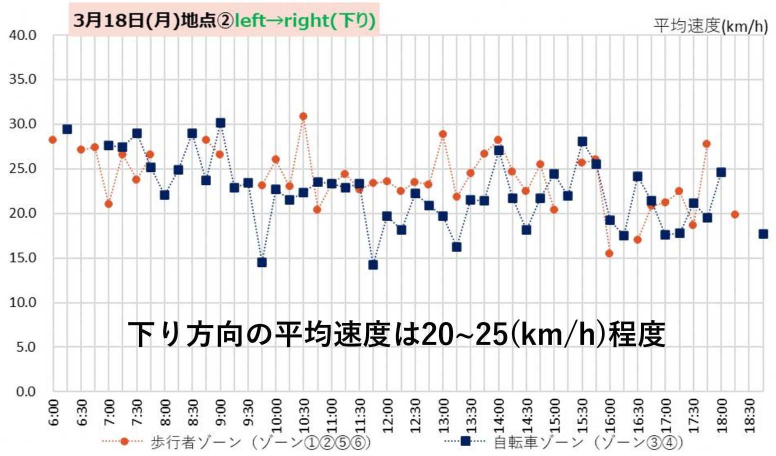
路面表示等なし

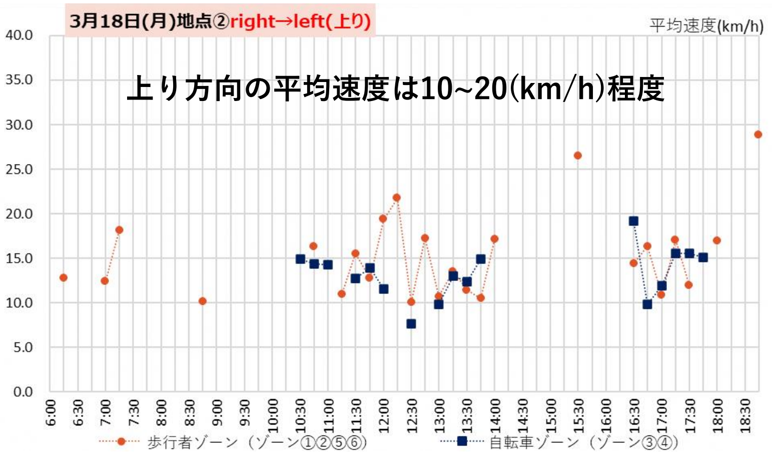




自転車の平均速度は
路面表示等の影響が
見受けられませんでした。

路面表示等あり





下り　　**上り**

３月社会実験＜市民アンケート結果＞

【実施日】令和6年3月15日（金）、19日（火）、21日（木）社会実験中（10～16時の時間帯）延3日間
【対象者】ご通行の方への街頭アンケート（日常的にレンガ坂を利用している方）
【合計回答数】465票

安全だと思う。	どちらとも言えない。	安全だと思わない。
（歩行者と自転車の通行帯は分けて誘導したほうが安全だ。と思われる方など･･･）	（自転車は道路の中央付近ではなくどちらか一方に誘導すべき。など）	（通行帯を区分したり、誘導する必要は特に感じない。と思われる方など･･･）
269 票	131 票	65 票
（57.8%）	（28.2%）	（14.0%）